

2030SDGsカードゲームの流れ

1 「2030SDGsカードゲーム」について

(1) 概 要

2030SDGsカードゲームは、SDGsの目標を一つ一つ細かく勉強するものではなく、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するカードゲームです。

(2) ルール

- ・各グループに設定されたゴールに向けて、プロジェクトカードを駆使してお金、タイム、意思カードを取得しながらゴールを目指す
- ・グループ（2～5人）を作り、それぞれがプロジェクトを実施
- ・グループが国で、チーム（10～100人のグループの集まり）が世界
- ・カード種類はお金カード、タイムカード、プロジェクトカード、意思カードの4種類

2 実施例

(1) 概 要

- ① 対 象 大垣市内の中学2年生96人
- ② 授 業 総合的な学習の時間
- ③ 場 所 体育館

(2) 詳 細

時間	内容
00:00～00:05（5分）	・授業開始あいさつ ・講師自己紹介 ・注意点等説明
00:05～00:08（3分）	・講座の導入動画
00:08～00:26（18分）	・ルール説明 ・SDGsについて概要説明
00:26～01:00（34分）	○ゲーム開始 ・前半（10分）→中間講評（4分）→後半（20分）→結果発表

01:00～01:05 (5分)	・ 休憩時間
01:05～01:35 (30分)	○ 振り返り ・ 講師が世界の状況に触れつつ、全体の振り返りを実施 ・ 自分たちの世界（全体）はどうなったか ・ グループの行動は世界にどう影響を与えているか ・ ゲームの前半と後半で自分の考えや動きに変化はあったか・・・等
01:35～01:40 (5分)	・ 先生の感想 ・ おわりのあいさつ

(3) カードの種類（写真）

		
ゴールカード	プロジェクトカード	意思カード（上） お金・タイムカード（下）

(4) 受講者の感想

- ・ 大きなことはできないけど、ゴミを減らすような身近なことから始めて、環境を破壊しないように気を付けたい（13歳女生徒）
- ・ 面白かったし、自分たちの活動が、どのようにSDGsや社会に繋がっていくのか何となく分かった気がする。（13歳男子生徒）

3 実 施 案

- ・総合学習として学年で実施
- ・理科、社会、家庭科、技術等SDGsを取り扱う授業の一環で実施
- ・イベント等としての開催（団体のレクリエーション）
- ・企業の研修としての実施

4 そ の 他

講師との事前打合せをお願いしております。

本事業は、市内教育機関・団体・企業を対象としております。

講師料等をご相談下さい。教育機関・関係者等への講師料は無料です。